



中臣被講述

三川雅是
全

特別
イ 4
3163
116



手頁
14
3163
116

此三十五个八分千
常三三三不言

Handwritten text on a small rectangular label at the bottom center of the left page.



寛文九己酉年八月廿二日鎌倉山内 吉川亭三誦談始

是朝の事也 先生作云 中臣校ハ何座ニ誦スルト云一モアル一トモハ 近代

家三座ニ讀クニ止リ急ク一トハ 三座ニモ讀クナリトコ

カラトコト云一トハナクホトヨクハキリクン五座カ三座中

也今度ハ五座ト三座トノ間ヲ取テ四座ニ可申也

廿二日申下刻ヨリ至成刻 起リ題号ヨリ 序段畢ル

作云先中臣校ノ三字ヲ初メヨリ云キ一トハ 家作法ト校云

一ト申メサテ中臣ノ二字ヲ沙汰申事也

叔松ト申ハ伊集諾尊ヨリ起ル也ソハ何故ニ起スト云ハハ伊集諾

伊集丹尊万物ヲ造化ニシメノ終ニ火神刺過突智カ生リハ

母伊集丹尊亦去ニシテス伊集諾尊戀暮哀愁ノ思ニ沈ニ

給ニテ未代ノ群生如此ノ思ニ沈ハ成ハ本性ヲケスハキホトニ其ノ
誤リヲハラフキ道理ヲ交ント思念ノモ交ラズクツ枝トハ云ナリ
其時筑紫ノ日向ニニ橘ノ小戸ノ檍原へ出給ニテ枝ヲニモサ多
枝ニ内清浄外清浄ト云ハカル内清浄ハ心ニ一念不起ル如
觀ノ起ル如ノ念ハノ不浄ル如ラ忘サクルヲ内清浄ト云ハ又行
水ヲノ離テ垢ヲ清浄ノ衣服ナト着ルヲ外清浄ト云ハ一往也
惣ノ水者滌身ノ身者滌心ト釈ノ以水ヲ身ヲ洗ハ心ニ
自ラ清クタルヤト思ハルハ眞實ニ心ハ清クトス也ハ乞ハ水ヲ洗ハ
善法ニヨリテ心ハキククク是ハ身ハ心ヲ洗フ也ハ能ハ可ク觀ル
陰ハ不淨陽ハ清淨ト先ハ一往ノ定ニ也ハ心ハ傷ル如ハ陰惡ニ
隨ル其ハ心ハ一念不起ノ元本ニ立ル飯ハ其傷ル如ハ思ハ眞ニ也ハ陽ノ

生死ノワカラ人ニ利口ニ云ハト一身ハカハ思ステカク頰ハ心神ヲ
傷ル何ハヨリ簡ニガク身ハ受シ伊笑諾尊ハ身ノ上ニウテテハ
トクトニモシメサルハ末世ノ衆生ニ教メタス内外清淨ノ枝ノ道理
シ立テ之ハ也

伊笑諾尊ノ橘ノ枝ト作ラルハ上ニ瀨ハ是ハ太疾下瀨ハ是ハ太弱
ト宣テ中瀨ニト過瀨ニメラフトリハ慎テ心ハ正キ時ハ自ラ中ニ也
中庸ハ儒ニ説キ中道ハ佛ハ説トキハアス中ハ天地自然
眞理ト誰ノ私ニアラズ也

中ト上ニ瀨中瀨下瀨ノ等ハ不限万物ノ上ニ放テ中ハ自ラ
備ル中ハ此ニツク和訓ハ文字ハ書ク釋ル也
此ハサテ不用也書ハ付テ漢字ヲ本ニ也ハ和語ハ眞若ニ

漢字ノ声ヲ沙ハスル一ノナリ也

ナリノ花ト云ハテ事ノ中理中アリ一尺ノ物共五寸ノ中
云ハナカ也是事ノ中一尺トモアルトナリ其物ノ上ニ付テホトヨ
ルカ理ノ中也是ラア花ト云ハキ也是ニ一往ノ誤ナリ事理長ニ
ナカトアルニ可ヤカタク午ニ云一ツヲ邪道ニ不好也事理躬
用ヲ兼カカ邪道ノ誤也

叔校トハ本慎ニ一字ヨリシテ也二六時中ツニスルハア
然則月用ガ全ツ校也

天地日月ハ人々ノ魂魄人々ノ魂魄天地日月也魂陽也魄
陰也陰陽清濁也陰惡陽善テ以陰陽已ハ以善惡
アリ人ハ魂陰陽ノ二氣ヲ受テ人ハ魂魄ノ二正善惡ノ胸

中アリ魂ハ天象魄ハ地儀ノ魂善ヲ好ム魄惡ヲ好ム
假令魂善ヲササトモは魄殿ガ惡ムヲ引クトモ魂ニ能ク
付ハ善トナリ魄ニカラズモ惡人トナリ也去中ニ聖人トナリ下
善者ノ惡トナリ一定セズ今日善トモ明日惡トナリ惡人
定ニス又善トモナリ故ニ校カテクルノ校ハテ魄ノニワチノ
凡トクトナリケテ魂ヲソメテ魂ノ下ニソムテ魄ノ私ナカ
スルヤサハ校ハ魂ノ下知ナリ魂ハ陽テ君ノ魄ハ陰テ臣ノト
魂魄君臣ノ位ノ正也善人ナリ魄勝テ魂負ハ惡人トナリ魂
魄亂ルト云也魂魄亂ルハ災難ヲ生ル也其故校ハテ治ハ
魂魄穩カシ魂魄ヲマカセハ災難消滅ス是校ノ徳ナリ魂
魄ノ靜カハ一念不起ノ理ニ安住スル故ナリ一念不起トハ月
魄ハ惡トナリト云ハ魄ハ形ヲ本ニ守ルタミイ故ニ形ノ好ム外ヲ求ルニ形ノ上ニ好ムハ皆惡教ナリ也

雲凡花凡凡思ワテ心ニワシニテ安住シカ知也神道之念不起ト身ル知

カウ云ハ當世佛學ノ人ノ云ル無念無想ニ似テ當世

佛者ノ無念無想ト云モノ天トモ不思地トモ不想又其

君臣ノ想ヲ念ナク安閑無事ニシ初ル境界ト云仍引ク父

母ヲ離レ君臣ヲ弃木石ヤサルヲ無念無想ト思リ吾道ノ

一念不起ト云ハ全ク不然天地万物ニ對スルコトニ念々ノ起ル知

付テハ念慮ノ起ルヲ見ル月ニ向ハセハ念ナク花ニ對スルハ念

起リ起リ来ル知ル於テ妄心交リテハ念ニ於テ不起ノ本分

眼ヲ付ル起ル知ノ念々ノ上ノ妄思ノ物消滅ノ念々自由合リ

動スルハ雪月花ノ一物胸中ニ在テ余ノ不通屈ノ伸ルナキ也

眼ト云其眼ヲ初ハ本分清淨ノ地ニ至ルハ以後ノ如ク鏡

ノ如ク水ノ静カナル時ハ澄キリテスキト云ル水動テ浪生スルニ至テハ水澄ニル知ルコトガ動キ出ルホトニ念慮ノ動

可ニ更

眼ト云モノハ眼後ノ如ク心トニ万物他ヨリ来テ自己ニ集ル集テ

久キテ集ル集ト云眼ノ積悪ヤツミカサルト云和語也他ヨリ来テ

自己ニ集リ積ラセ初ハ本性清淨ノ地ニ皈也以誤テ殊勝ノ

至リ也他ヨリ来ラズハ一念不起ノ如ク其知ハ又ハ心ヲ付ルハナキ也

哀ニモアルハキカリテ過不及ナキ也歎ニ違テナケルナニハナイン

其理ニ過テナケルテ天性ヲ傷シテ一五トヤ十ナキヲモ何レ思

フスハ例ノ佛者ノ無念無想ノ僻見ヤ

如ク云ハ本心理方ヲ云ヤ理計ヲ取テ事ヲ捨テ此理ヲナシテ

佛者ノ何モシテ

フリステ枯木

死灰ノヤラシ念

不起ト思フ此方ハ

其嫌ニ

安閑無事ト云

然トシテ然ラズ念

不起ト云ハ非スハ

人ハ間居スルハ至

ラストスルナシテ

却テセテノ妄

念ヲ起ス

○其月ヨ花ヨトヨ

ル知ニ付テ妄念

カソイテラニモ

聲ニ水ノ静カ

ナル時ハ澄キリテ

随テ妄心ヲツレテ

ナシ物ニ向テ是付

テ其物ト契テ此念

コト下ニ居テ水ノ

澄メルカ如シ是

初ノ内證ト云

事ヲトトモアラズ事理ヲ離テ事理ヲ自由ニ仕フク此ノ
流行ト云 **人々固有ノ理**ヲ取リテ事理辨用ス
習ハイトハ私ヲ消シ一己モヤソテ師資以後カニシ

陰ハ濁ル人陰氣ヲ受ン方多クハ隱念ニテ此処ニ居
ヤ陽氣ヲ多ク受ン人ハ發明ハレテ進ニ過テ此妙ナリ
如ク思不及ノ在ルヲ至不及ノナキヤウニスルカ教ノ

在天ノ昇ト在ルノ思ト在物ニ思靈ト性ノ心ニ也天ノ念ニ性
の注ナリ性心ノ臟ニヤリテ在ル心ノ注の舍ナク云性清
淨ナリ故ニ性ニ率テ行フク道ト云性注ニ性ニ率ニ教ニ
清淨ノ地ニ至ル全ク此道ナリ性中ナリ此ナリ理ナリ

教ハ一方ノ一念不起へ飯ルホトニ胸霧自ラ消テ渾沌未分位ニ

飯ル渾沌ハ如鷄子溟津而含カト教ノ天地未分ノ万物
相渾融ノ已ルヲ云性ニ本付ク敬ト云此誨ノ常ニ不讀
以テト云同レ共中ヤ万物ノ母ナリ性ニ注ト云云ト云ナリ性
ハト云唯一此道ノ後宗源ノ眼ナリ口訣アルヤ

敬ノ本ナリ教ノ本共天地ノ是ナリ性ニ教ノナイハ人ナイン
ツクニテ道ト云モノアソノ人々一晝夜ノ思ハ急ク思ハ

下愚サハワレト云識ルト云三のラナル徳ガア故ノサレ習ワ
ス由テ小惡ヲハ正シラス下愚ノ此ハ大愚ノ受テツクム云
己ニ識ル己ニ如ク況ヤシラス知ノ惡イラカ可有ト思フテ本
ハニ向テ夫スルヲ云ト云ヤヤスくと心得ルワレト云セイト

大悪人ト云ルホトノ者ハ殊ニ悪人ト云ルハ
此ニ更テ恥テ思シ忍ビカス故ニヨリ
教タラハ本心善シモ可引出ス更ソ
人々其正ニ善義ヲ得テ居ルホトニ
ソレヲ直ニ授ルソ故ニ中臣教ヲハ
正義直授ノ校氏申也

叔敬ト云ハ我心ニ立帰テ已ニ知ル處惡從如此況ヤ我ニシラ
又外ノ罪イテ計ソヤト忠テ本心ヨリ我意地ニ向テ答
メタニイテヤレクヤヤクノニ度可成更非ト忠テ外ニ教ト云

事ヲトモアラズ事理ヲ離テ事理ヲ自由ニ仕フク此ノ
流行ト云 **人々固有ノ理**ヲ取リテ事理辨用ス
習ハイトハ私ヲ消シ一己モヤソテ師資以後カニツ

陰ハ濁ル人陰氣ヲ受ン方多クハ隱念ニテ此処ニトニライモ
陽氣ヲ多ク受ン人ハ發明ハアル進ニ過テ此妙ナリ
如ク思不及ノ在ルニ及ノナキヤツニスルカ教ノ

在天 昇ト在ルニ思ハ在物ニ思ハ性ノ心ニ也 天ノ念ハ性
の体ナリ性心ノ臟ニヤリテ在ル心ノ体ハ念ナリ云性清
淨ナリ故ニ性ニ率テ行フク道ト云性清ハ性ニ率ニ教ニ
清淨ノ地ニ至ル全ク此道ナリ性中ナリ此ナリ理ナリ

教ハ心ノ一念不起ハ敬ルホトニ胸霧自ラ消テ渾沌未分位ニ

敬ル渾沌ハ如鷄子溟滓而含カト教ノ天地未分ノ万物
相渾融ノ已ルヲ云性ハ心ノ体ナリ性清ハ性ニ率ニ教ニ
心ト云同ニ去中ヤ万物ノ母ナリ性ニ率ト云性清ハ性ニ
心ト云唯一此道ノ後宗源ノ眼ナリ口訣アルヤ

敬 教ノ本ナリ 教ノ本去天地ノ先ナリ 教ノ本ハ人トナイン
ツクニテ道ト云モノアルノ人々一晝夜ノ思ハ念ノ思ハ

下愚サハコトイフハ識ルニ三ノワナル徳ガ凡故ノサレ習ワ
ス由テ小惡ヲハ正シラス下愚ノ心ハ大愚ノ受テツクム去
己ニ識ル己ニ如ク思ヤシラス知ノ惡イラカ可有ト思フテ本
心ニ向テ工夫スルツクムト云ヤヤスクト心得ルコトイフセイト

大悪人ト云ルホトノ
者ハ殊ニ悪人ト云ハ
ルニ其ヲ恥テ思フ
忍ビカス故ニヨリ
教タラハ本心善
シモ可引出ス変ソ
人々其正ニ善義
ヲ得テ居ルホトニ
ソレヲ直ニ授ルソ
故ニ中臣教ヲハ
正義直授ノ校氏申也

叔敬ト云ハ我心ニ立帰テ已ニ知ル處徳從如此況ヤ我ニシラ
又外ノ罪イタク計ソヤト忠テ本心ヨリ我意地ニ向テ答
メタニイテヤレクヤヤクノニ度可成変非スト忠テ外ヲ教ト云

陰神崩御之夏日本記ニ具ニリ陽神モ形ヲスレハ始メ有テ終ノチキハ
ナケレ唯天ニ歸スラト云々大ヤシノ説ニ正シク御崩形ヲ説テ
ツサメ糸リタル処ニテツ熊野トアラセリ陽神ハ天ニトル故ニ天ハ不滅
常住ノ理ヲ以テアラハニ崩御ヲ不説陰神ハ地ニトル地ハ生老病死
色シラスホトニ陰神ハ崩御ノ形ヲ説タレ也地ハ春生夏茂秋病
冬死ノ相ヲ示メ万物ト歸ル十月ト云時枯果テホト歸リ十一月又ニ陽
地中ニアラハルソ是ヲ不滅ノ滅ト云ナリ伊時丹尊ハ天地ノ理ニ能クモ
テ然モ陰神ニ地ヲ司給フホトニ天地ノ理ニ法テ十月終リ至ソ故ニ本
朝十月ヲ神無月ト云ヘリ是ハ一ツ六十月ハ無陽ノ月トテ陽ナキ月トハ
陽ハ神陰ハ鬼ノ理ヲテ神無月ト云一ツ六伊時丹尊ノ崩御ノ月ト云
以テ云何ニ口待アリク

陽神ハ天ニ
レ病死レ故ニ陰
ノアラハス所ハ
云モ以テ理ナリ
又カシレヌト云
レ云ノ故ニ云

純陽者ニ五月ニ一陰リ地中ニ示スノ天風始ニ三三ニソ九月ニ如リテ
山地利ニ三三ニ卦ト云テ十月ト云故ニ三三ニ純陰ノ坤ノ卦ニナリ
新曰似兼ハ云々ハ誤テ伊勢ニ集リテ今出雲ヘト云

神ハ伸リ屬陽ニ鬼ハ屈リ屬陰ニ十月無陽ノ月ニ六神ナレト
云フ是ハ口訣ノ余ニヤダツナス一ナカレ

惣ノ枝ハ多ク地喜式ニオハノ卷ハ祝詞美テ枝ノ本ノハ
中臣枝ハ諸ノ枝ノ元本ノ中臣ヲ天津祝詞ノ大祝詞ト云フ
西神ノ宣命天鏡屋根諱辭ナリト云テ伊奘諾伊奘冉尊ノ伊
シカク勅命ヲ受テ天鏡屋根ノスナラナ辭シアルメラタノ天鏡蓋

作テハナイーンノ神武天皇ノ御時ニ天鏡屋命ノ孫天種子命ノ
新
此代ノ文字ヲ以テ書テ一巻ノ書トス此代欽明天皇ノ御宇崇峻
大連以漢字書ス

叔中臣ノ二字ノ事天子御即位時三種神照シ後奉リテ
此中臣ノ二字ヲ栞政殿ヨリ仍後ニタテニツラク一也中臣枝ニテ

三ヶノ大事 五ヶノ大事 八ヶノ大事ト云ハアリ 中臣ノ二字
其内ノ一ヶヤ 高天原 天津彦彦 氣吹皇 三ツミ 中臣 八尋 天注富貴 氣吹皇 降後約 命

廿枚ヲ十二段トシタリ 常磐大連ノ所為ヤ 天祚地祇ノ十六
一年十二月一昼夜ノ十二時等ニ當ル也

中臣ト云カ姓氏ニモナリ也

○天兒屋命敬ツテ
人々道ヲ盡テ
故ニ是ヲ中臣ノ
神ト云御子孫其
理ニ能通シテ
時ハ中臣ヲ以テ
氏トセリ

先代仲哀天皇ノ御宇ニ 天兒屋命 十一世ノ孫 常磐大臣 大白
術ニ達セシメテ 始メテ 卜部ノ姓ヲ賜フ ○元代 欽明天皇ノ御
常磐大連ト部ヲ改メテ 中臣ノ姓ヲ賜フ 能成中臣ニ叶ハシ
元九代 天智天皇ノ御宇ニ 大織冠ニ 中臣ノ姓ヲ改メテ 藤原姓ヲ
賜ハシ ○四代 天武天皇ノ御宇ニ 意美九改ニ 藤原ヲ復シ 中臣ニ
神護慶雲三年ニ 清九ニ 大守ヲ加テ 大中臣ト賜フ ○貞觀
四十八代 林德太子 至五代 天智天皇

三年ニ 平九改 大中臣ト本姓ト部ニ復ス 是モ大白ニ 達セラル也
大白ト 神道ノ大事ノウラカシヤ 初メ 伊奘諾尊 天神ヨリ
ウケテ 是ヲ 天照太神ニ 授賜シ 天照太神ヨリ 天兒屋命ニ
傳賜シ 天兒屋命ノ子孫代々 傳授メ 吉田ニ 在之故ト部
姓ヲ賜ハシヤ 叔伊勢 祭主ハ 平九ノ末子ニ 今九ト云モ 大中臣
相續ス 其今九ノ子孫 故ニ 大中臣ヲ以テ 累代ノ姓トス

中者ナカアルト讀ム 畢竟ノ意味ハ ツシムト云心ノ上ニ如ク

此上ノ訓常不談

臣者 トニヒ ヒトニ讀ム ヒトニ云
ニヒトニ云セタリ 然ル各ハ 中臣ノ二字

○中ニ切程能ルツ云
中央ニキリキニ万物
母トシテ一切皆生ヨリ
生ルツ土ホトノ實ハ
ナキトナリ ツシムト
云和語モツクニハ
エシト時一切カ生
シテ天地ノ道理カ
立ホトニ人モ敬ミ
ソ保ツ時天地ノ
理一心ニ備リテ人間ノカ立リ

ヒトニ云ルニ 可云也 ツシム時ハ 天地ニ 神明ニ 万物ノ理悉ク 人々
上ニ當ルナリ 類ノ凡キハ 天也故ニ 七祀アリ 是則 天神七代降迹

○臣トトハ外云
心ハ語助字
也外ハ中アリ
中ハ外アリ天地
張陽君臣上下
夫婦等皆中
臣ノ理トラスト
云々ト云
○中臣トトハ外云
以テ人ノ道ヲ盡セ
ハ天地万物ノ神道
唯一人ノ當ル
ト云々ト云

身軀ハ地也故ニ腹中ノ五臟ハ地ニ在リ。两眼ハ日月ノ氣海
水ハ潮。口中ノ水ハ泉也。毛髮ハ草木也。骨節ハ金石。息ハ
ナリ。人ハ全ク天地。々々ハ全ク人々ト云フ。天地神明坐セ。我
身心ノ中ニ神ヤトラスラヤ。如クナリトイハレ。神ヤトリテ見テ人
モナク。鬼畜ニ等シカラズ。木石ノ如ク。木石トラス。鬼畜ニ行ク同
ク。爰ニ於テツシムト云理ヲシレハ。天地神明。是徳人々ト云フ。當
ルニ無疑。爰ツハテツシム。秘本也ト云フ。是ノ理ヲハテハ秘
中臣秘ト云也。

天子沙即位ノ時ニハ二字ヲ得後ニ奉ラレ也。ツシム心ニシテ
位アリトイハレ貴カラス。天子ヤト云テモ。庶人ヤト云テモ。形
外ハナク。只此理ヲ交得ユフテ。一天ノ民ヲ一子ノ如ク思食ガハ
リ也。

大織冠御尺

以我祖神諄諄。伐四海惡敵。拂無量災難。保安穩自
淺位。淺官。昇高位。友。除貧賤。万病。得壽命。百福。
皆是吾神明妙術也。

聖徳太子。佛奴ヤトイハレ。今此ノ佛者トハ。啓リテ。神道ヲ
示シ。故ニ秘ツ。秘ノ口

解除者成就。百福。治療。万病。是則不老妙術也。不死
良薬也。故言語。寂頂。諸法。心地。万行。源是也。

已上題号

序段

高天原仁神留坐 源

高天原ハ天ノ原ニ云フ如ク云

神漏岐ハ男神ノ号也。高皇產靈也。神漏美ハ女神
也。天照大神ノ沙事ナリ。高皇產靈ハ男神ナルコトハ
神明通稱。漏岐ハ高皇產靈ノ音。高皇產靈ハ陽也。岐ハ
男神ノ。高皇產靈ハ男神トシテ。神漏美ハ同シ。美ハ高皇產靈ノ音。
肉ハ陰也。天照大神ノ。又ノ義ニ天照大神ハ正統ノ所先祖
高皇產靈ハ外戚ノ所先祖也。先天照大神ノ可申コトハ。高皇
神漏岐ヲ天照大神ト申テモヨキ也。必ズ男神ノ義ニカクハカ
皇正統ハ父方ノ父方ノ内叔ト云テ骨トリ。母方ハ外叔ト云テ
肉ニ取ル。亦ハ骨ト内アリ。唇ハ肉ト外ニ入ル也。神漏岐ハ天照
大神 神漏美ハ高皇產靈ト坐ス也。此説允其心ス。
命ハ天ハ勅命也。

八百万神等ヲ神集ル集賜ル神議仁議賜天

天照大神高皇產靈等ノ諸神ヲ集テ議論アリ也。爰ハ神明
妙用ノ卷一人ノ分別ヲ立ル也。ノ諸神ノ義ニ同セラレタリ。

吾皇御孫尊事也。吾トハ吾君ナリ、云心也。夫兒屋舎以詞
也。吾皇ハ高皇產靈ノ沙事ト坐ス沙事ト云心也。

豐葦原乃水穗乃國 本朝惣名ノ卷トハエカナリト祝
スル也。葦原ニ祝稱ノ。祭昌ナト云心也。水穗ハ高皇產靈ノ音。高皇產靈ハ

家ノ祭昌ヲハウルシト云ホトシ。穗ハ五穀也。饒ノ心ノ。唯祭昌ス
ハキ國ナリト祝也。心也。唐天竺何國ヲモ五壳豐饒ノ事ト云。

安國登平人所知食登 方氏ヲ安ラカニメクニ丑トシ平也。
國ノ作法ガヨケハ人ノ心ニ。奸曲ナリノコトニナルノ
知令夕計テハ世モナリソ其ヤシ行ヒスミテ人カ誠ニ樂ク安ッ思フニアル。

取合点ノヨミナリ
知令セトシ知行
ト云モ此ノカクシ
知令夕計テハ世モナリソ其ヤシ行ヒスミテ人カ誠ニ樂ク安ッ思フニアル

ヒイキニ親疎アルハ平等ニ
ナイホトニ平ダクハ申サレナイ

○事依之奉教
依付之教ヲハ
祈シキソ

○如此依之奉志
カキニ依付己
タソトイハシ
キ皇孫ニ安ホ
三ニセトハ依セ
ス如此唯國人
ヲ安キヤト仰
付シタハ天命ヲ
知令長セトノ教

○折天命ハ天ノ依
天地間ケ万物化生
禽獸魚鼈等
生スル莫唯天然
生スルアラス皆天
ヨリ命アリテ草
木ニシテ鳥ニシ
テ獸ニシテ莫ニセト
依付之ハ外定
一リテ生スル也況
人ハソチ天ニナリテ
國ヲ安シ百姓トメ
農業シハケニテ朝
夕私ナク勤メヨト
命ヲ受テ万民ヲ救
ハ汝武士トシテ非
常シキニシメ

○神孫降臨段
ト申ソ
神ハ天照太神ノ故ニ
天孫降臨ト云フ

○天照太神ノ國ヲ
道ヲモ
讓授ニシテリ
教トナク治ルト
ナクメ万民能
服メ梳ヲモ奉リ
自ラ治ルカ
伊弉諾天照太神ノ
御代ナリ其内ニ
万民ノ

○心ソロクト濁テ
主アリテ女玉ハ
治リクイハカ
ルソノテ天上
テ議定有
テ安ク万民ノヨ
コヲアワシトメ
天ヨリ依付テ
テ教ヲソシ農
工商ヨシキモ
早モ男モ女モ
天命ヲ知ル外
天ニ
教ナシ殊更神
ニテ皇孫ヲ降
臨ナシ日向ノ
高千穂ニ内裏
シテ立テ玉ノ
主ト定メ玉
仕奉ルモハ暫
シモ由斯スハ
カラス唯ニ六
時中天下万民
ノ安カラシ
シカハ天下太
平天上云ハ天
照太神ノ御代
ナリ其内ニ万
民ノ

○天照太神ノ國
道ヲモ
讓授ニシテリ
教トナク治ル
トナクメ万民
能服メ梳ヲモ
奉リ自ラ治ル
カ伊弉諾天照
太神ノ御代ナ
リ其内ニ万民
ノ

○心ソロクト濁
テ主アリテ女
玉ハ治リクイ
ハカルソノテ
天上テ議定有
テ安ク万民ノ
ヨコヲアワシ
トメ天ヨリ依
付テテ教ヲソ
シ農工商ヨシ
キモ早モ男モ
女モ天命ヲ知
ル外天ニ教ナ
シ殊更神ニテ
皇孫ヲ降臨ナ
シ日向ノ高千
穂ニ内裏シテ
立テ玉ノ主ト
定メ玉仕奉ル
モハ暫シモ由
斯スハカラス
唯ニ六時中天
下万民ノ安カ
ラシシカハ天
下太平天上云
ハ天照太神ノ
御代ナリ其内
ニ万民ノ

○天照太神ノ國
道ヲモ
讓授ニシテリ
教トナク治ル
トナクメ万民
能服メ梳ヲモ
奉リ自ラ治ル
カ伊弉諾天照
太神ノ御代ナ
リ其内ニ万民
ノ

○心ソロクト濁
テ主アリテ女
玉ハ治リクイ
ハカルソノテ
天上テ議定有
テ安ク万民ノ
ヨコヲアワシ
トメ天ヨリ依
付テテ教ヲソ
シ農工商ヨシ
キモ早モ男モ
女モ天命ヲ知
ル外天ニ教ナ
シ殊更神ニテ
皇孫ヲ降臨ナ
シ日向ノ高千
穂ニ内裏シテ
立テ玉ノ主ト
定メ玉仕奉ル
モハ暫シモ由
斯スハカラス
唯ニ六時中天
下万民ノ安カ
ラシシカハ天
下太平天上云
ハ天照太神ノ
御代ナリ其内
ニ万民ノ

○天照太神ノ國
道ヲモ
讓授ニシテリ
教トナク治ル
トナクメ万民
能服メ梳ヲモ
奉リ自ラ治ル
カ伊弉諾天照
太神ノ御代ナ
リ其内ニ万民
ノ

○心ソロクト濁
テ主アリテ女
玉ハ治リクイ
ハカルソノテ
天上テ議定有
テ安ク万民ノ
ヨコヲアワシ
トメ天ヨリ依
付テテ教ヲソ
シ農工商ヨシ
キモ早モ男モ
女モ天命ヲ知
ル外天ニ教ナ
シ殊更神ニテ
皇孫ヲ降臨ナ
シ日向ノ高千
穂ニ内裏シテ
立テ玉ノ主ト
定メ玉仕奉ル
モハ暫シモ由
斯スハカラス
唯ニ六時中天
下万民ノ安カ
ラシシカハ天
下太平天上云
ハ天照太神ノ
御代ナリ其内
ニ万民ノ

○天照太神ノ國
道ヲモ
讓授ニシテリ
教トナク治ル
トナクメ万民
能服メ梳ヲモ
奉リ自ラ治ル
カ伊弉諾天照
太神ノ御代ナ
リ其内ニ万民
ノ

○事依之 神勅之 任ト云字ヲモテヨサスト 讀ホトニ以國ヲ一向

獲々祈尊ニ任奉ラリ心也 封ノ字モヨサストヨムソ

○奉幾 キオテニハハケリト云一ノ 思キヤナトモ 思ケリヤニ 文ナトモ申シキ

ナト、書ハハケリト云心ソ 惣ソ 哥色ハ 祢ルヨリ出故ニ 重ヲハ 縁言

ナトアリ 如此依之奉志 重ヲハニ 丁寧及覆ノ義也

正水二日畢

廿三日巳刻ヨリ 午下刻ニ 降臨段ヲ 征露ニテ 三段

常磐大連 十二段ニ 分ラリ 此以段ナ一段止ハ 各段ヲ 序段トス

十二月ニ 當ルホトニ 序ヲ 潤ニ 配ス ト云一 古来ヨリノ 談ナリ

神孫降臨段ト申ソ 神ハ 天照太神ノ故ニ 天孫降臨ト云フ

○國ハ三 伊弉諾尊 天降賜テ 道ヲ 教 作法ヲ 立賜リ 叔

國ヲ安シ 百姓トメ 農業シハケニテ 朝夕私ナク 勤メヨト 命ヲ受テ 万民ヲ救ハ 汝武士トシテ 非常シキニシメ

天照太神ノ國ヲ 道ヲモ 讓授ニシテリ 教トナク治ルトナクメ万民能

服メ梳ヲモ奉リ自ラ治ルカ 伊弉諾天照太神ノ御代ナリ 其内ニ万民ノ

心ソロクト濁テ 主アリテ女玉ハ 治リクイハカルソノテ 天上テ議定有

テ安ク万民ノヨコヲアワシトメ 天ヨリ依付テテ 教ヲソシ農工商ヨシキモ

早モ男モ女モ天命ヲ知ル外 天ニ教ナシ殊更神ニテ 皇孫ヲ降臨ナシ

日向ノ高千穂ニ内裏シテ立テ玉ノ主ト定メ玉 仕奉ルモハ暫シモ

由斯スハカラス唯ニ六時中天下万民ノ安カラシシカハ 天下太平

天上云ハ天照太神ノ御代ナリ 其内ニ万民ノ

○國中 任荒振神達 荒振神トハ 木也 貴ノ事也 此神謀畧

名人也 故ニ 諸ノ邪神ヲシタガ 惡神ノ棟梁トシテ 以テ 押領メ 坐ス

故々 邪神トシ 貴ヲ主人トシ 荒ビテイラケホトニ 荒振神意トハ云也

○神問 之仁 問賜 此 文 躰 簡 古 亦 見 三 十 一 天 上 議 定 有 テ

○國中 其國ノ内ト
云一ノ 西國カ
云日本一國志
皇孫ニ譲リテ
其國中ニ 裁儘
テ上ニ 順テ下
ナサル人ニ 又
シ云々

先大屯貴^シモト、勅使^シ之^テ、彼國^ヲサリナク皇孫^ヲ奉^ルニキカ。
コハ心有^ルカラ、尋^テヨカラウト云テサテ下^ルハキ神^ハ誰^カヨカラウト、議論
ナリ。天照^ニ我^ハ一人^ハ分別^ニハヤホトニ、八百^ノ水^ヲ遣^フ、八百^ノ次^ヲ作^ルメ
其^ハ水^ヲ遣^フカ^ニテ、大屯^貴神^ハ武勇^ト云^ヒ、謀^略ト云^ヒ、ソツ^ハニメ
尺^ノ難^シ、天^穂日^命余^ハ大屯^貴ノカ^リ、是^ヲ遣^ハハセタス、和^奸ノヨ^シミ^テヨ^リ
聞^分え^ヘキ^ト、議^定有^テ、穗^日余^ヲ遣^ス、大屯^貴神^兄カ^ノ礼^ヲヘ^テナ
ツ^テテ^ヲホ^ト、穗^日余^モカ^レ、何^ナク^ハ順^付テ、三^年ハ^キ申^セホ^トニ
又^ハ所^誤合^有テ、穗^日余^ノ所^子大^背飯^三熊^大人^ヲ下^サレ、是^レモ^親ニ^シメ
カ^レテ^止リ^ヌ、ソ^コテ^又天^上テ^ハ所^議定^有テ、三^ニ和^奸ノ^奸ミ^ヲ謀^テ、穗^日
下^シ木^人ヲ^遣セ^ハ、和^奸故^ニ却^テ彼^ニ腹^シヌ、ト^カノ^武勇^ノ猛^將ヲ^下メ^トリ
ヒ^キ主^シヤ^トハ、諾^神ノ^言ヒ^テ天^上、玉^ヲ奉^行ル、天^國魂^ノ子^天稚^彥、

云^フ武^勇ノ^神ヲ^遣セ^レ、大^屯貴^神此^レヲ^聞テ、武^勇神^ヲハ^色ヲ^ハテ^勇
ヲ^タム^ルニ^不如^キテ、下^照姫^ト云^ハ我^カ娘^ノ養^女ヲ^遣メ[、]謀^レタ^ルハ、天^稚彥^カ
武^勇ヲ^遣テ^シニ^シケ^テ、下^照姫^ヲ娶^テ、大^屯貴^ノ尊^ニ女^ヲテ^又ハ^事申^サズ、
此^ハ天^上テ^ハ所^議合^有テ、和^奸ノ^奸カ^コモ^トナ^サニ、武^勇神^ヲヤ^リテ^モ
又^ハ時^カイ^カハ^是ニ^キ武^勇ハ^シケ^テ女^ヲモ^シハ、向^方ハ^カレ^テイ^ラク^一カ
ア^ラウ^ソ、ト^カノ^正路^正直^ノ人^ヲ遣^ハメ[、]穴^窺セ^バヨ^カレ^テ、皇^者稚^ト云
社^ヲ遣^ハサ^レバ[、]正^直律^ヲモ[、]毫^厘焦^ル事^ヲ一^ニ世[、]他^人ノ^不直^ヲ
惡^ム一^人ニ^シテ[、]故^ニ天^稚彥^ニ射^テ不^直不^忠ノ^モノ^ハ人^トナ^イソ^ノ
ナ^ト、雜^言惡^口ニ^及ブ^ホト^ニ、天^稚彥^射殺^ヌ、サ^テ天^稚彥^ノ一^ツ具^ニ
云^ハハ^事長^クナ^ルノ^但哥^道ス^キノ^人ニ^誤ル^一ガ^アル^ノ、下^照姫^ノ天
上^テ哥^ヲヨ^メテ^一カ^ルノ^京ノ^序久^堅ノ^アメ^ノ、下^照姫^ニハ^シテ^一

荒合ツキテハ素戔嗚尊ヨリシテトアル哥ノシテシキト久堅
アトハ都テヨメタ故ノ荒合ツキトハ素戔嗚尊ハ惡行ニシテ
出雲ハナカサテ地下テヨミヨフ故ヤテ天地トワカワスルニ五十万
年ト下照姫ヲ先ハ書イソノサウ仕テ雉ハアリ清廉ナホトニ
命ヲトイメシ是ハ節ハ似名氏用ニ立スルノタトヒ耻辱ニ及ブ
耻シシテニテ帰テモ主ノ用ニ忠節ナリ當世物見武者ノ手
柄ヲシテキラウ心ハハシノ雉ハ一分ノ勇ヲハナシ又氏使者ノ切名ハナ
云ハテ無名雉ト云ワタノソニテ天上テモ何トメカヨラト大切
談合ニオツタノ和奸ノ好ヲエラシ武勇ヲモトメ廉直ヲスクリテ
アテ見スハ色々ニ方儀ヲ習フイトホトニ柔強兼備リ礼ヲ
降セヘシテ攝取者ハ経津主神ヲ大將軍ニ定立ラセシ廉直
降セヘシテ攝取者ハ経津主神ヲ大將軍ニ定立ラセシ廉直

武彊槌神進出テ経津主神ノミ丈夫ノ我ホトハ用ニ立ニキ
者ト思念カレイカレ躰ニ息サシハケシ去ホトニ其心ツヤブシガ
為ニ武彊槌ニ副テ降ラシム是副將軍起リ也以及降ラシムハ
大己貴神其謀ヘキヤウナキト識是大己貴ノ謀畧抜群
タルヤ也謀畧ノカイキキ我カツタテ人ツテテ謀ニシテ可謀ト
スル故ニハツシ多クヤ又及神ハ文武兼備ハ利ニ不走怒ニ不墮
名ニカワラス仁義礼智ニホカナリ端末未見人ヨリトナシ天地神
明ノ物ト推移變動無常因歎轉化ス徳已大己貴命見テ
世ヲ順ク大己貴神沙事代主神ハ謀畧ヲハテタツ立カナリ
王道ヲ以テ立カフ五リ故ニ父神ニ事見シテ謀畧ヲ捨カフ
故ニ神祇友ノ八神殿ニ大己貴ハ入カフ事代主神ハ入カフ也

語問之磐石一語止天
 大巨貴神我命ニモ尚ラ凡凡ノ國ヲ押領シテ天照太神ニ叛ク
 心有六天余ニシムキテ人ノ道ニラス故ニ草木モ般石モ余
 失イ物イワヌモト云道理ヤビテ皆物ヲ云々ノ然ル處ニ大巨
 貴敢不從命乎ト仰之テ天ノ命ト云フシ合點メサレタ
 レ草木般石モ語止タリ

オヤウノイモヤミ也是ヲ語止天ト云リ

○天磐座放テ 磐座上ハ倭國汗殿ト云一也

天上ノ玉座ヲ放テ降臨アルト云一也

○天八重雲 伊豆ノ千別仁 千別天

天上ノ千別仁ノ文ハイリ云々ノ雲路ヲト云一也 伊豆ハ日本紀ニ稜威

ト云ハイタ稜威ハ可畏ノ義也 千別ハ日本紀ニ道別トアリ
 待ハ待下々ハ下々上農上商ニ云々ト云々ノ為リト云々モ云々ト云々カヨイソ
 ソレノ道々シテ分ケテト云々心カコモル也

○天降利依之奉饗如此依之奉志

日向ノ千穗ニ内裏ヲ立テ國ヲ治メ云々ト云一也

△第二段

○四方乃國中仁 國家經營殿ト申ノ新屋造立ノ祈禱

ナトハ此段ヲ治メ云々ノ東夷西戎南蠻北狄ノ四方夷國ヲ置テ中有國ト云々

○大倭目之見乃國 日本國ト申ス一也イロク註釈カアル

○安國登定奉至下津磐根 宮柱太敷立

下津岩根ハ堅固ノ祝稱ナリ 宮柱太敷立 美藤ニ金花

ナリハメタシヨイトハコナハ心得ヌ板ハスリ柱ハフクニスラ本トスル也

安國登定奉至
 能治メ至イテ

怪テ一モナウツツ
 テト云ノ善光
 以諾樹汁トカ
 以ハ千ト心得アルト云
 樹汁ト云テノ字目ヲ使
 不能言或神

漢書稜威ト云 神武記

ナチ大正貴モ天照太神ノ訪臨ニ悦ビテカラ。自ラ天怪ナリモナウナリ。
惡事ノシルハ。釜カウキ草木カ動搖ノ事ヲ憂ミテ云フ。善光
寺ノ金佛ガ物云メトトハ。コケハスカヌノ。釈迦ノ説法ノ以テ諸樹木トカ
出テ説偈ヲ傳フ。讚ト云フ。コケハトラス。但此段ハ千ト心得アルト
ナリ。在傳ニ石言千晋魏楡師曠曰石不能言或神
憑焉。神沐ヨリソテ石トカ物云一モアル。正儀ノ神道シヨルハ。
モヤシ。モヤシ也。是ヲ語止トスリ。

○天磐座放 千 磐座上ハ、倭国所殿ト云一也。

天上ノ玉座ヲ放レテ降臨アルト一也

○天八重雲 千伊豆ノ千別 千別 天

天上ノ三行テノ文ハナリ。千々ノ雲路ヲ、心也。伊豆ハ、日本紀ニ稜威

ト云ハイタ。稜威ハ可畏ノ義也。千別ハ、日本紀ニ道別トアリ。
待ハ待下々ハ下々上商ニ云々ト云フ。心カコモル也。

○天降利依之奉幾如此依之奉志

日向ノ千穂ニ内裏ヲ立テ國ヲ治メタルト一也

△第二段

○四方乃國中仁 國家經營殿ト申ク。新屋造立ノ祈禱

ナトハ此段ヲ治ル。東夷西戎南蠻北狄。四方夷國ヲ置テ中有國

○大使目之見乃國 日本國ト申ス一也。イロク註釈カアル

○安國 登定奉立 下津磐根 宮柱太敷立

下津岩根ハ、堅固ノ祝稱ナリ。宮柱太敷立、美藤ニ金花ヲ

千リハメシヨイトハ、コケハ心得又、板ハ、ツク。柱ハ、フクニスル。本トスル也。

安國ニ定奉立
能治メ至一トナリ

漢書稜威ト云
神武記

○高天原 仁千木高知豆

高天原 天地ノ高知豆

ホトヨリ知ツ云ノ瓊々杵高知豆ノ所ハニ叶フテ止リ住ミユフ知ハト云
ニ云ルソノ千木上ニ見枕ヤウナ物ヲ千木トシテ正直

質朴ツ表スカタシキモシツク表キフ上代ノ遺風ノサレハ

今ハ金銀ヲ心チナリハヤウニナツク金物ト可遣モノナリ

私云千木ハカ名ギノ一通途ノ誤ナリ兼俱ハ下旨知リ枕ヤウハカツキ
ナリサレハナウ保アリタシサハ千木ハカ名ギカ名キノ通称ト心得ヘキナリ

當世ハカリヲ子ギト云モ正直テイフクマナク云リ

○吾皇御孫尊乃美頭乃御舍仁仕奉豆 カヤウニ結搦ニ

皇孫ノ所殿ニ定ラレテ天兒屋令太玉命心下仕立ツリテイモ也

吾トハ天兒屋所御也

○天乃御蔭日乃御蔭登隱坐云

天ノ天字ニハ雨

美頭ハ瑞字ヲモ
水ノ字ヲモ用ル
瑞玉ノ水ハ物ヲ
養フ方ナリ

ト云心ニ見ナリ雨ガシ日ガシノ一ノ瓊々杵高知豆ノヤス
住ルルカツカウ云ツ

○吾國登平介久所知食年

雨カシ日クリシノ安々ト住ルアリ

○第三段

民ノウエツイトヒテ術教ヲ結搦ヲ好ムス而シテ月ノ在リ
分斗ノ所ハ切回モ安ク平ク有リト知食ハニ極行給也

○國中仁成出年

群生仁罪段申ノ國土ハ生出ニ

○天乃益人

伊賀諸尊伊賀丹高ノ泉津平坂ニ於テ宣ヒ

○益殺汝所治國民日將千頭

當産日將千五頭ト云々

日ハニ死スルヨリ生クモノガ多イト云ノの言ニ天益人ト云フ

既曰陽氣生物
故産千五百頭
俗稱百姓曰天
益人謂日生者
多於日死者也

○過於犯氣年

雜々乃眾事也崇利

アヤシクヤウニスルカ稜ナリ稜ニ叶フガ君子也

過於犯氣年
過於犯氣年過ハ秋モ
過於犯氣年過ハ秋モ
過於犯氣年過ハ秋モ

・ 大目 以下ヨリ午下刻ニテ 天津罪ヨリ 感應段ニテ 五段
全朝ヨリ雨アテ一段ノ物シラカニ

○天津罪 登波 天^ガ長罪^ツ段ト申ノ 天災^ニ五穀不熟トノ時

祈禱ニ讀ム 此段ニ 衣冠佳ノ三ツヲ破ル^一カニ 是^ハ此段ノ口

訣ノ 天津罪 國津罪 是モ被^レノ三ヶ大事ノ一ツ也

天^リ得^ルカ 天津罪 地ニ得^ルカ 國津罪也 廿天津罪ハ

素衣烏尊ノ天上^テノ 惡行^ヲ事寄^セテ申^ル故ニ 祢^レヨリハ天津罪

ト云^フカ 俗^ニ授^ル一^テテ 天^リ得^ルカ 法^ノ立^タルカヤホトニ 天津罪ト云^フ割^テ

ト云^フ天津罪^ヲ天^リ得^ルカ^ヲ知^ラズ^ニ 故^ニ知^ラズ^ニ 有^レケ^レ 先^ニ心^ヲ白^クス^ル

素衣烏尊ノヒツカテ 法^ヲ立^テル^{コト}ト云^フ也

○畔^ノ放^地 天^照本^ノ一切^ノ衆^生ニ 耕^作シ^テ 爲^スル^{コト}ニ 天

狭田長田トシテ 沙田トシテ 作^スル^{コト} 素衣烏尊ノ其^ノ畔^ヲ 放^テ 障^ルコト

畔^トハ 田^ノ畝^ノノ 名^ヲ 水^ヲ タメ^テ 禾^ノ 穀^ヲ 成^就セ^ルト云^フ 是^ハ 放^テ 名^ヲ

溝^ヲ 埋^ム 是^ハ 素衣烏尊ノシ^テ 引^ケル^{コト}ニ 云^フ 海^ノ 水^ヲ

シメ^テ 其^ノ 水^ヲ ハ 田^ノ 文^ヲ 知^ルシ^テ 埋^ムコト 何^カ ヲカ^ラズ 早^ニア^ルハ 水^カ

カ^レテ 田^ヲ シ^テ 引^ケル^{コト}

○桶^ノ放^地 桶^ノト云^テ 桶^ヲシ^テ 水^ヲ入^ル用^ナハ 桶^ヲテ

テ 取^リ之^ル 水^ノ 多^クテ 水^ヲ入^ルコト 桶^ノ 破^ラレ^ル 水^ヲ 損^スル^{コト}

○敷^ノ蔭 日本^紀ニ 重^テ播^キ種^子ト遊^ブ 天子^ノ蔭^ニ 其^ノ 桶^ノ

ヨイ^カカ^ク 有^ル 既^ニ 桶^ノヨ^リ比^シニ 桶^ノヨ^リ又^テ 桶^ノハ 桶^ノト云^フ 大^クシ

ケキ^ルコト 桶^ノト云^フテ トリ^テ ス^ルコト 桶^ノト云^フニ 桶^ノト云^フ 法^ヲ

天^リノ 人^ノ 氏^ヲ 養^フ 育^ム 是^ハ 爲^スル^{コト} 衣^ヲ 食^ヲ 名^ヲ ソカ^ニ ス^ルト 天^ノ 罪^ト 云^フ 天^ノ 養^フ 育^ム 是^ハ 罪^ト 云^フ 説^ク 天津^罪 天^ノ 罪^ト 云^フ 是^ハ 罪^ト 云^フ

串刺 是ハ詳論ノアル知ニ田札ト云テ札ヲ立テ上タカラモイ
口ハヤウニスルノ今世ニサナトシテテラクノサレハ論知トシルノ論ニ
ナイ天照大神ノ沙田一モテキテ田札ヲサレタハ吾アソウテトシヤウソ

生剥逆剥 獸ノ皮ヲ生剥テハヅラ生剥ト云死タラ剥ヲ

逆剥ト云フ是ニ素衣鳥鳥ノ天上テ天照大神、シカケテタ悪

事ノ具見ニ又見天照大神^ヲ織^ニ神衣^ヲ居^ニ耐服^ニ殿^ニ具

最^ニ天^ニ班^ニ駒^ニ穿^ニ殿^ニ覺^ニ而^ニ投^ニ綱^ニトアハセタ天照大神ハタマ

織^テニ^ニス^ク見^テ天^ニ班^ニ駒^ト云^テ麻^ヤナ^ラズ^ク皮^ヲハ^キ一^ニ降^テ物^ヲ

沙^殿ノヤ^子ツヤ^リテ^テ抛^入セ^タ天照大神モヲトキユリ

畔^平放^地ト^スリ^リ串^刺テ^ノ五^ツハ^田ヲ^破セ^タホト^ニ食^事ヲ^障

セ^タ一^ノ生^剥逆^剥ハ^簡古^テニ^レス^テエ^ノア^レ能^ク一^ニ擧^スル^ニ上

ニテ神衣ヲ織ムヲ知ラシ障ラセタホトニ衣服上ヲ辱セタ一ノ其^ハ

ニ^カカ^ノイ^チカ^シ破^テナ^ケ入^セタ^トア^ハ住^知ヲ^モソ^子ハ^レタ^ノカ^ウ上^ハ

衣^食住^ノニ^ツク^破セ^タ也^也是^ハ正^シク^上テ^素衣^鳥事

相^ニ正^シタ^悪事^ノシ^ク知^テ人^々ノ^天津^深ニ^ナラ^ハセ^タノ^イツ^モ

申^如ク^ニ神^書ハ^事理^辨用^ヲ兼^テ説^クン

サウ^仕テ^人ニ^思フ^ニ素^衣鳥^事ハ^惡事^ナリ^テ衣^食住^ノニ^ツク^ハセ^タ

障^ラセ^テア^ルガ^子タ^ハヤ^ウナ^ラセ^タ思^フリ^人々^ノ衣^食ヲ^障ル^ルハ^ナラ^ズ

超^過セ^タノ^田叟^ハヨ^ラズ^テ田^畑ヲ^ソナ^ウ一^言ニ^ルニ^イト^アズ^一粒^ノ

米^モ百^キヲ^テ成^熟ス^ルト^モ氏^ノ幸^勞ア^ゲテ^云ハ^キヤ^ウナ^ラシ^ク何

ハ^不思^フノ^飽テ^タタ^セリ^テ徒^ラシ^クス^ルタ^リ田^叟ヲ^ヤフ^ルニ^アラ^スヤ

ハ^ツノ^菜ノ^葉一^ツモ^生ス^ルリ^氏心^ヲ辱^ソタ^ルモ^ノソ^シキ^トシ^ラタ^ル

許々ス久^ク罪^ヲ於^テ
如此^ノ罪^ト云^ヒ氏^ハ
又^ソク^クノ^罪ト^云心^ハ
氏^云ナ^リ舟^道ニ^コナ^クト^云日^ニ
万^葉集^卷四^ノ
大^伴宿^禰家^持
與^交遊^別歌^ニ
蓋^モ人^之中^言
聞^可モ^幾許^シ
雖^待君^之不^來
益

事ハトカキテカハルソ能ク可也

第五段

國津罪登波

人ノウラフニヨリテ天ニ達シテ天ヨリ災アリソ

是人災ヲ拂フ時ノ祈禱ニ

生乃膚斬

又傷ヲ擲イソ罪人ヲシモラハテ打ツト是ハ

公衆イソ天理ニソムキモラキエタイソ我氣ニアラト云テ怒ツテ

人ヲ討ヤミソ我腹ヲイソ生ノ膚斬ノ罪ト云ソ我腹ノ立ヤラズル

モノイカホトカ腹カ立ヘキヤカニウラハルニ終ニ折果ノ死スルハ恨ミ

ナイソソウモウコラミソババナラヌモノウラハルニ終ニ折果ノ死スルハ恨ミ

思テコラミソモノ心ナレテ見ハ中ク打ツヘキ道理ハナイソ一旦ノイカ

フトキト思フ心モアルモノソラハイソ思フテヤムカ殺ソ我ニケタイル

モノヲ折擲モスレバ互ニ折果スヘキツラダニナソモノス思フニハエラズ

死乃膚斬

是ハ殺害ソノ勿論人ヲ殺タモノヤ天下國家

障リトモモノヲ殺ス天命ヲホト罪トイフソ己カ宿意ナトヨリテ

殺スハハアナイソソカカ手折如敗スモノヨイモムナイモノソ

一人小天地ヲホト人間ハ大ヤイソ殺スモノハムラヌト云ハ能ク思

慮スヘキソ殺ス罪ハ天下ニ大悪事テ万民ノ害ト云ヘキモノソハ

殺スガ道ソ我カ氣アラヌノ慮外モノヤソソカノ盗ラシメルト云テ殺

スハ死乃膚斬ノ罪ナリ其咎人ヲ責ル人モ立歸テ我カヒツク

見エバソホト悪クイラヌアラソ故ニ天ヨリ之ヲ見テ又己カ討ヤミ

ソノヨクク可怖ナリ

白人胡又美

白人ハ白癩

胡人美ハ黒癩ソヒモ簡

古見ミイハソ生乃膚斬死乃膚斬ナト罪己カ代ナクテモ

源順カ
和名集曰瘰因
説文曰音息
瘰因 和名阿萬
文六

一云胡久美
瘰肉也

先祖代々、カウノ罪己ハ必父祖ノ善君ハ子孫ニ及フ習ヒテ、カウノ
悪病ナシモ、文一ノサレハ一ク我心ニクテ簡シテ、其罪ヲハラハ、
カウノ悪病モ治ル也、善悪ノ報應ハ響影リモ疾クシ。

○己加母平犯世留罪

是六不孝ノ罪ナリ、母ト云ハ父ハ其中ナリ

○己加子平犯世留罪

是六不慈ノ罪ナリ

○母登子登犯世留罪

不孝不慈ノ罪ホト大キ也、罪ハ才ハ安

ヲハクリトノヤウニ信スル始メ胎内ニ十月ヲ母ニルシシカテ生シモモ
タキ内ニソシテソクテ人ナリ花一ツ思ハ、母恩ハアリフキ一ハ、報
報シモシタシ、慈キ父母トハ、ハツキ内ヨリ以テ恩ス、何カ報
ヘキ、然レ其慈恩ス、オ忘レテ唯今トニ慈キキテ、恨ルハ、母登子登
犯ス罪ナリ

○子登母登犯世留罪

我身ヲ分ケテ生カ子トシ、シテ

ツシム、天徳ノ理ノ、我老テ彼ニ助コシト思フモ、アラスメ自他ノ道ニ
失、着キモノハ、孝ナクハキ道犯シ、辨カ子テ一旦不孝ニ似ル
アリ、此ノハ、年老老ハ、思ヒ元ノ慈、(オラ)此タカハ、一向ニシテ
慈心ヲ失フシ、子ト母ト犯ス罪ト云フ

○畜養犯世留罪

耕作農業ノサリトスルヲ殺ス、世ノ為ニ

天命ナリ、故ニ田獵ハ聖人ノ定ル如ク、非ノニシサルナリ、
トテ、狩候下ノ玉々ノ民ノ榮枯シモ、見セシ、田獵ノ其タム
シ、耕ヒテ、農業シ、ス、タ、ト、我念スヘキ、
ト云、延喜ノ比、日本ニ四足ヲ念ヒ、延喜ノ比、
クワヌ子細シ、禁セシ、服忌令ノ口訣、
クワヌ子細シ、禁セシ、服忌令ノ口訣、
クワヌ子細シ、禁セシ、服忌令ノ口訣、

牛馬ハ農業又ハ
遠路ノ勞ヲ助
ル天命ナレハツキ
昔カモモ非キ
一ノ其外鳥獸
畜シテヤニシテ
入籠ニシテ已カ
樂ミトスルノ又
畜シテ罪人

ハ必スセイト

人々道ニ背ク故
天地ニミケル神
シラスノハ虫
地シラスナリ
是ヲ地獄トテ
地ニ討セラル
矣ナリ

昆虫乃災 空ヲ翔翅地ヲ走ル 獸ト云テハ子ハ、虚空ヲ

トシ、四足ハ地ヲ走ル、虫ハ子アリ、足ノ多キハ、爰ハ飛トイモ

走ルニテ、ナリ、地ヲハフ虫ト云心ノ、昆虫明ヤナリ昆陽セテ陽氣ニテ、温

地ヲハエ出ル虫類ノ、田畑ナトシ、ソナヒ、サハ、毒虫ガ人ヲナセム類ノ

高津神乃災 雷ノ落ルニ、ハ板ニテハ、サウクニ、ナキヤ

畜仆死 六畜怒倒ナトモ、只事ナハナイソ

盡物世流罪 醫書ニハ、盡毒テ毒ノ、人ヲ疑惑セシ、師

巫類ヲ盡ト云ト、アルハ、カコナメ、ニ、ナウ心ヲ、呪詛ヲ、人ヲ惑スルヲ

許々太文 許多イソ、百葉ニ誰カ、梅ニカ、有ケ、コ、タ、モ、サ、ル、カ、モ、我思

云テ天津罪ハ、天ヨリ直ニ、ニ、ル、ソ、ル、メ、△此天津罪誠ニ、ノ、カ、レ、難、シ、國津罪尤、マ、カ、ル、ハ、カ、ラ、ス、ト

上ハ、コ、タ、ク、ノ、罪、ソ
天津罪ト、法別ト
云テ天津罪ハ、天ヨリ直ニ、ニ、ル、ソ、ル、メ、△此天津罪誠ニ、ノ、カ、レ、難、シ、國津罪尤、マ、カ、ル、ハ、カ、ラ、ス、ト

第六段

如此出天波

杖具段ト云ソ 上段ニ出テト有ソ、又テ、ミ、リ

天津宮事 舟以天 天津、ハ、天上、津、ノ、事、ハ、言、如、神、秘、カ、

カ、ウ、ニ、我、身、ノ、眾、智、ノ、カ、リ、ミ、テ、杖、ノ、ス、ハ、天上、津、ニ、通、ル、ソ、

天上、津、ノ、杖、ノ、イ、ク、ツ、シ、ム、ク、イ、ハ、ナ、リ、ム、何、ト、ソ、天上、通、ズ、ベ、ク、

ツ、シ、シ、ノ、誠、ガ、天地、ノ、モ、動、ス、ノ、故、ニ、杖、ハ、ツ、シ、ム、ツ、本、ト、ス、ル、ソ、也、

天津金木 幣帛ノ、絹、テ、モ、セ、ヨ、帛、テ、モ、ハ、ゲ、白、金、ノ、串、ハ、

本ノ、竹、テ、ノ、モ、本、ノ、是、シ、ラ、金、木、ト、云、ソ、

本打切末打断 本末ヲ切断ツ、ハ、中ヲ執、ハ、心、ノ、

千座乃置座仁置足 波之天 必ス、千、ル、ト、云、ハ、ア、ズ、お、々、ノ、

置座仁何シモツキタルシ、ツキタラフ、ス、ト、云、也、

座ト度ト同、ア、ソ、エ、ニ、ク、ラ、ニ、ク、ラ、行ト云ニ、タ、ニ、タ、ト、云、ト、同、也、

幣ヲ指テ金木ト云
金ハ天ノ木地ニ
金ハ西方月本、東、方、日、ナ、リ、本ノ、幣、ハ、天地、日月ノ、輪、ナ、リ、人、ノ、魂、魄、ノ、輪、ハ、ナ、リ、

人々天ヨリ命ヲ受テ
人々道ヲ入スヘキ
コトナリ、改、ニ、今、
天津罪、國津罪、
歎テ人々道ニ至
ニスル、処、ナリ、

天津菅曾 是ハ茅ヲ云清淨ノ物ト云儒道ニ宗當ニ祭ル時茅破トテ
鉢ニ破シ入テ其上ニ茶ヲ敷テ其上樹籬ノ酒トテ茶ノ入夕酒ソソキ
テ神ヲ祭ラルソ侍法ニ叙成道ノ時モ吉祥草トテ敷レタソ智
叙草トテトカテ草ナリ然儒者モ侍者モ草ニ多キニテ三茅
ヲ用ラレトト問ハヒラヌソ神道其故カ恒ニ傳授見ソ大キニ先生
秘ニ給フソ

河原若リハ茅ソ
時ハ葉ヲシテ名ヲテ用テ
用テモ葉ヲシテ又テカ見ソ
ル長也
麻ハヒキヲ細ニワリテ
日ニ可用也
大謬辭段申フ

天津ハ亦テ云註ソ
祝詞トハ神ノ物ヲ申
時ノ詞ヲ奏ラハ今
此祝ヲ祝詞ナリ祝
トハ諸ノ災難ヲ
傷口言モイ時ヲ
テハ祝ト云ハオソ
武運長久五志豊
鏡一乃民快樂ト云
イホ此祝カ分祝
詞トテ奏ルハ肝
宣ハトテソ宣礼
トハ法テノ玉ト云ソ

是ハハケテ大事ノ時ノ口傳ノ一座ノ誦誦ト云申セヌソ天津祝詞ハ天津
太祝詞トハ重詞ノサリ乍ラ一ツ大事ヲ申セヌハ天津祝詞ハ天津
祝詞ハ太祝詞ハ地祇ノ祝詞ト心得ルソ其天祇地祇ノ祝詞
行未何災難ヲナラセテ坐セテ兼テ祝トテ今モ神ノ祝トテ天津玉玉神
ト云ハ何事ト云ハ只誠ソスサリカ我ホソソ誠カ感通
應驗ノルハ祝詞ト申ソ天祇祝詞太祝詞ト云ハ地祇ノ祝詞ト云ハ
如此宣羅彼ニカ誠ノ一ツ如ト云ハ眞實至誠ノ如ク
如此ト云ハ祝ト申道理ヲ如此定メ玉フカハト云テ故ニ中臣祓ハ伊弉諾

第八段

尊宣命ト云ソスレハ伊弉諾尊罪ヲ被テ天年ニ叶フ道理ヲ教ラ名
ハ如此宣ラハ十セニ罪カハラハニイヤハト決定スヘキ也ソ

天津神者

天地神感應段ト云ソ

我心ニ誠シ感スレハ

其誠カ天地活レ應ルソ

天磐石於押開幾

神代卷ノ磐石段ノ心トハ以テ替ソ

爰ハ天津神ノ縁語ニ出タソ止ハ大事ノイハナイソ天上

理ナリ中リ神ナリ一理ノ妙躰ヲ天トソ磐石トハ神明妙躰ニ向

ヒテ對ルル云フ故ニ開クソ有リ開ルルモアルソ天在ハ神ト云

人在ハ心ト云天今セン性ハ一心上ヤルルハ天上ニ神ノ坐スト同トソ

我性ソラニテ一ハ性トテ天トソ天トソニサテ坐スソ天出岩トツトルト

云ソ天神ノ妙躰ニ向テ奉セトスレハ大磐石ノ戸ヲ指テ妙躰ヲ

見ル一不可是ラ岩ト云其ハ何ササテ云テハ私慾ノ妄念ヲサテ

天津神トハ天ニ坐ス神
達ソ云是ハ社ニソラ
又神ソ

天津菅曾乎本新断末新切互

天津菅曾乎ハ茅ッ

本新断末新切トモ中ノ執レ心

茅ッナイ時ハ葉シテタテテ用テ用テ
ワラ代ニ用テモモシラヌテカ見ソ

八針取群互

茅ッハ束テハ方ニ奉ル也

第七段

八針トモ針字ニモ可有死事ナシサテモ用テ又麻ハヒキヲ細ニワリテ
絁ツ分ニハ本シク用テ用テ是ニ菅曾ニ可用也

天津祝詞乃太祝詞乃事於宣禮

大謄辭段申フ

是ハハケ大事ノ時ノ口傳ノ一座ノ誨談ト申セヌソ天津祝詞ハ天津

祝詞ハ天津祝詞ハ天津祝詞ハ天津

太祝詞トハ重詞ノサリ作ラツ大事申セヌソ天津祝詞ハ天津

祝詞ハ天津祝詞ハ天津祝詞ハ天津

祝詞ハ天津祝詞ハ天津祝詞ハ天津

祝詞ハ天津祝詞ハ天津祝詞ハ天津

應驗ノハ祝詞ト申ソ

祝詞ハ天津祝詞ハ天津祝詞ハ天津

如此宣羅彼

如此ト云フハ祝ト申道理ヲ如此定メ玉フカラト云フ故ニ中臣族ハ伊弉諾

第八段

尊宣命ト云フスレハ伊弉諾尊罪ヲ赦テ天年ニ叶フ道理ヲ教テ名
ハ如此宣ラハ十世ニ罪カラハニイヤハト決定スヘキ也

天津神者

天地神感應段ト云フ

我心ニ誠シ感スレハ

其誠カ天地活レ應ルソ

天磐石於押開幾

神代卷ノ磐石段ノ心トハ以テ替ン

爰ハ天津神ノ縁語ニ出タソハハ大事ノイハナイソ天上

理ナリ中リ神ナリ一理ノ妙躰ヲ天トソ磐石トハ神明妙躰ニ向

ヒテ對ルル云フ故ニ開クイキ有リ開ルルモアルフ天在テ神ト云

人在テハ心ト云天今セン性ハ一心上ヤルルハ天上ニ神ノ坐スト同トソ

我性ヲラニテハ性ト一神ノ天ヲモソラニサテ坐スソ天出テトツルト

云ソ天神ノ妙躰ニ向テ奉レトスレハ大磐石ノ戸ヲ指テ妙躰ヲ

見ル一不可是ヲ岩ト云其ハ何ササテ云フハ杵慾ノ妄念ヲサテ

用

天津神トハ天ニ坐テ神
達ツ是ハ社ニシテ
又神ソ

岩戸云云、私慾妄念我胸中、サレテ多シセハト云、向ヒモ、向フ

ルノ戸カサルツ、人欲私ニシテ、故ト勸テ其私欲ヲ被ヒ天童トヤウ行ハハ明カニテ天孫神トハ新、

天八重雲、伊豆乃千別仁、千別豆所聞食年、松怒、

委雲ヲ拂ハ、胸中ノ岩戸ヲケテ心月ハカシ、此世ニ爰ニイテ遠國

他境ノ神ヲ念ヒ、稜威ノ道別仁道別天、此座仁降臨アルトシ

亦我カ思ヒカ、膚通メ、天上神モ所聞食一ツ

國津神波、山ノ末短山乃末仁登利坐豆、地祇、

我カ思フ如ク、誠カ通スハ、天津社、天津社、海童、一切神等

感應アリテ、降臨影向、ニシテ也

高山乃伊惠理、短山乃伊惠理、於掬別豆所聞食年、

伊ッノ社ナリ、社祭ノ丹誠ヲ抽テ祈ルハ、此ヤク感應アル一ツ、

山ノイタキヲ云ヒ

社ヲ拜スルニ、ヤウニ天地ニ通ル一ハ、不審ナヤウナリ、サリテラ

社祭ノ作代、天神地祇一切、社祇一社ノ内ニ勸請申ス也

板ノ勸請ノ作代、習マ志ニ誠ナシハ、岩戸モ伊惠理モ聞テ降

臨ル一ナシ、又志誠アリト云ハ、其作代、侍候セサハ、又感應アリ

降臨アル一ナシ、其志誠有テ其代、重シ智ク人稀ニテ、天地ヲ

動シ、鬼神ヲ感セシハ、知ナケルハ、社是ニラス、サハ、社人ノ與カキ、知リ可知

志ヲハケシ、瓦可習ハ、社人也

▲九五日、午刻ヨリ未刻至テ、譬喻段ヨリシハリテ

第九段

如此所聞食、天波罪止云、罪答止云、答波不在止

譬喻段、又軍敗治要段、申ノ、板ノ徳ヲ譬言シテ云フ

伊惠理ハ家ト云フ

又イノモトナリ

又イノモトナリ

一冊精ヲ冬ノ祈レハ此

感アリテ此應ナキ

又イノモトナリ

三十余社、内式外

神達、一月ニ文ヲ

一ツ

相秘次曰

杖者蕪息本分之一靈消除色相之万病
為如意寶珠福録名之曰波羅伊矣

本分之一靈神宜之凡心神ノ念慮結ホスル
時ハ一靈カ惱ムノ其カ神人タニキレシタルカワナソ
杖スレハ一灵ノタニキレニキツケシ吞スルヤウナソ
念慮結時如影隨形之荒神乱ル人ニ九万八千
五百七十二神神達舍スル是シ如影隨形荒
御前トスル八万四千毛次ニ各一神ワ舍給ハ分
八万四千神ニ九万八千各一千六百十九神ワアリ
合一万四千五百七十二神也是シカ八万四千ニ合ス六
九万八千五百七十二神ニ是カ人ニ魂魄ニ神着属
也弘法大師入唐メ荒神着属九万八千神イテ
向玉尺唐土ニテシカト答ルモチカリシニ帰朝メ神道
傳授時不審ヤレタルト

藤原三毛名寄三毛

春有千枝若くは人たゆり
ふりふりりるのまき
女を思ふ桐若くは花三毛
波も花もささげ路乃細木
星の思ふもささげ色三毛若くは花三毛

心ニテ祝（祝）コトニ故ニ（八百）下神等諸共ニトハス
 〇左男廉（廉）ノ
 庶（庶）ヲシテ神明（神明）ニタト
 テ云（云）リ侍法（侍法）ハ大
 日（日）ノ牛（牛）ニタト又祥
 ニ侍性（侍性）ツ牛（牛）ニタ
 トニ十牛（十牛）焉アリ
 觀音（觀音）ツ馬（馬）ニタトフ
 〇八ノ耳（八ノ耳） ハ（ハ）不（不）辰
 ハ（ハ）方（方）リ申（申）ス（ス）マ（マ）ツ
 能（能）ク交（交）マ（マ）リノ神
 道（道）ニ自（自）ラ（ラ）大（大）事（事）
 依（依）先（先）目（目）ハ（ハ）我（我）ホ（ホ）
 目（目）モ（モ）向（向）フ（フ）ト（ト）左（左）カ（カ）
 少（少）ツ（ツ）ト（ト）計（計）ミ（ミ）テ（テ）ツ
 向（向）テ（テ）ト（ト）云（云）フ（フ）モ（モ）紙
 一（一）枚（枚）テ（テ）レ（レ）モ（モ）カ（カ）ビ（ビ）ハ
 見（見）ヌ（ヌ）ソ（ソ）耳（耳）左（左）右
 前後（前後）ハ（ハ）申（申）ス（ス）不（不）及
 イ（イ）カ（カ）下（下）並（並）ガ（ガ）有（有）
 テ（テ）モ（モ）能（能）圖（圖）テ（テ）我
 等（等）ノ（ノ）祈（祈）リ（リ）奉（奉）ヒ（ヒ）リ
 神（神）的（的）ニ（ニ）能（能）通（通）ス（ス）ト（ト）云（云）フ（フ）耳（耳）ノ（ノ）方（方）ソ（ソ）是（是）ハ（ハ）締（締）固（固）受（受）レ（レ）ト（ト）云（云）フ（フ）

勝母（勝母）ノ故ニ（故ニ）學（學）文（文）ト（ト）心（心）ニ（ニ）落（落）ヌ（ヌ）故（故）ニ（ニ）眼（眼）ツ（ツ）フ（フ）キ（キ）耳（耳）ツ（ツ）アリ（アリ）立（立）テ（テ）坐（坐）ス（ス）
 ハ能（能）ク通（通）ス（ス）ノ人（ノ人）云（云）フ（フ）ト（ト）ト（ト）聞（聞）シ（シ）ト（ト）ス（ス）ニ（ニ）眼（眼）ツ（ツ）ト（ト）ゲ（ゲ）テ（テ）耳（耳）ヲ（ヲ）ス（ス）ニ（ニ）テ（テ）
 キケハヨク通（通）ス（ス）ノ故ニ（故ニ）注（注）ル（ル）納（納）文（文）モ（モ）御（御）耳（耳）ハ通（通）ス（ス）ト（ト）人（ノ人）ニ（ニ）モ
 耳（耳）カ（カ）注（注）ル（ル）ニ通（通）ス（ス）ノ竅（竅）ノ極（極）儒（儒）ニ孔（孔）子（子）ノ十有五（十有五）ヲ志（志）學（學）ニ三（三）十（十）ノ
 立（立）平（平）ノ玉（玉）選（選）五（五）十（十）ヲ天（天）奪（奪）シ（シ）ル（ル）六（六）十（十）ノ耳（耳）順（順）ト云（云）ル（ル）次（次）カカ面（面）白（白）
 儒者（儒者）ハ（ハ）耳（耳）リ（リ）是（是）ニ氣（氣）ツ付（付）タ（タ）人（ノ人）ノ才（才）ガ王（王）陽（陽）明（明）カ門（門）人（ノ人）王（王）童（童）溪（溪）ト云（云）
 モカ心（心）ツ付（付）ネ見（見）レ（レ）タ（タ）ノ
 佛（佛）モ觀（觀）音（音）カ肝（肝）心（心）テ聞（聞）声（聲）悟（悟）道（道）見（見）色（色）明（明）心（心）ト云（云）見（見）佛（佛）聞（聞）レ（レ）
 ナ（ナ）ハ云（云）フ（フ）已（已）ニ先（先）眼（眼）ツ（ツ）大（大）事（事）ニス（ス）方（方）ガ多（多）イ（イ）ノ觀（觀）音（音）ニモ慈（慈）眼（眼）
 視（視）衆（衆）生（生）福（福）聚（聚）海（海）無（無）量（量）ト云（云）カニ句（句）ノ偈（偈）リ大（大）切（切）如（如）シ（シ）ハ（ハ）モ
 眼（眼）ツ（ツ）大（大）事（事）トセ（セ）シ（シ）タ（タ）ノ注（注）ル（ル）大（大）事（事）トス（ス）ル（ル）ハ耳（耳）ツ（ツ）
 注（注）ル（ル）能（能）通（通）ス（ス）ト云（云）フ（フ）耳（耳）ノ方（方）ソ是（是）ハ締（締）固（固）受（受）レ（レ）ト云（云）フ（フ）

此（此）段（段）ハ極（極）メテ大（大）事（事）ニ依（依）ル（ル）カヤウ（カヤウ）ノ（ノ）申（申）立（立）ル（ル）ハ佛（佛）見（見）ナ（ナ）ト（ト）モ（モ）必（必）
 コラ（コラ）シ（シ）方（方）モ候（候）ハ佛（佛）持（持）テ人（ノ人）ノ才（才）ガ聞（聞）ク遺（遺）恨（恨）ニ思（思）フ（フ）一（一）カ（カ）ル（ル）ホ（ホ）ニ
 門（門）人（ノ人）ナ（ナ）ラ（ラ）ヌ方（方）ツハ耳（耳）リ申（申）ノ席（席）ニ入（入）申（申）サ（サ）レ（レ）ト（ト）シ（シ）サ（サ）テ方（方）々（々）人（ノ人）ニ向（向）
 テ并（并）ト依（依）テラ（ラ）サ（サ）ル（ル）ナ（ナ）ノ

寛文九龍集己酉秋八月廿五日末中刻畢

吉川氏惟定從時先生御誦談

門人 不破氏惟益行孝聞書



心ニテ祝コトニ故ニ八百下神等諸共ニトハス



